

# 千葉県勝浦警察署 (千葉県勝浦市)



エコ・アイス



ヒートポンプ給湯

### 贈呈理由

### 省エネを実現するエコ・アイスと業務用エコキュートの導入



千葉県勝浦警察署

勝浦警察署は房総半島外房に位置し、日本有数のカツオの水揚げ高を誇る勝浦漁港を有する勝浦市、大多喜城が復元された閑静な城下町である大多喜町を管轄している。1970年建設の旧庁舎は太平洋に近い低地に建設されたことから、津波対策に不安を抱えていた。また耐震性の問題や、職員数増加による執務スペースの狭隘化も顕在化していた。他方、千葉県では「県有建築物の耐震化整備プログラム」を策定し県有建築物の計

画的な耐震改修をすすめており、それらの状況を総合的に判断して建て替えを実施することとなった。2013年竣工の新庁舎は、地域の新たな警察拠点として十分な耐震構造を持たせるとともに、標高40メートルの高台に設置することで、津波対策を講じて地域の災害拠点となり得る建物となることを目指して建設された。あわせて、省エネルギーや環境負荷の低減を図るためにさまざまな取り組みを講じている。空調システムについては、個別分散型の高効率ヒートポンプ機器を採用し、なかでも空調時間帯が昼間に限られる執務室などにはエコ・アイスを採用した。また、給湯システムについても業務用ヒートポンプ給湯機を採用。浴室の設置階別に給湯熱源機を分散配置することで、給湯配管からの放熱ロス削減による省エネ性向上や、機器故障時のバックアップの機能も持たせている。

あわせて緑豊かな周辺環境との調和を両立できる意匠性の高い水平ルーバーを外部に配置し、日照を遮へいすることで空調負荷の低減効果も見込んでいる。警察署という市民のために常時開署している建物の特性を捉えつつ、ゾーニングを踏まえた効率的なシステムの採用・分散配置により省エネルギー性も高く、環境保全にも貢献した地球にやさしい警察署が実現している。

### 千葉県勝浦警察署

所在地：千葉県勝浦市沢倉515-6  
 建築設計：榎本建築設計事務所  
 建築施工：畔蒜工務店  
 蓄熱設備設計：榎本建築設計事務所  
 蓄熱設備施工：進日本工業  
 延床面積：2,846.12㎡  
 竣工：2013年（新設）

#### ■蓄熱設備概要

エコ・アイス（個別分散） 16馬力相当×1台〔ダイキン工業〕 蓄熱槽：1.22㎡  
 業務用ヒートポンプ給湯機 15kW×2台〔東芝キャリア〕 貯湯槽：2.24㎡